



NO.24-33 2024年11月24日

<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ

～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 主に望みをおき、出会い結び合わされて

<聖句>

イザヤ書 40:28～31

～主に望みをおく人は新たな力を得、鷲のように翼を張って上る。
走っても弱ることなく、歩いても疲れない。

エフェソの信徒への手紙 4:16

キリストにより、体全体は、あらゆる節々が補い合うことによってしっかり
組み合わされ、結び合わされて、おのおの部分は分に応じて働いて体を成
長させ、自ら愛によって造り上げられてゆくのです。

「平和を告げたキリストをかなめ石として」

今日の主日礼拝の中で、お一人の方が神戸バプテスト教会の一人として歩む思いと決断をお伝え下さいます。この日を迎えられたことを感謝します。教会は「神に召された・呼ばれた人々の群れ」との意味ですが、具体的な人々のグループでもあります。年齢も背景も出身も違う人々が、イエス・キリストという福音を受け取り結ばれています。神を礼拝し、イエスを通して表された神の思いの実現におきて働きを担い、生き合い、世にあって神の愛と義を表して行くところへ向かって。「キリストはわたしたちの平和であります(14節)」。イエス・キリストの十字架の死と復活を通して、すべての人が恵み(神からの一方的に頂くもの)によって救われる道が示されました。それは、ユダヤ人と異邦人の間にあった隔ての壁を取り壊し、双方を一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、一つの体として神と和解させ、敵意を減ぼしたと告白しています。建造物に例えられた教会のかなめ石はキリスト・イエスご自身。キリストが告げた平和は、隔てが壊し、敵意が減ぼされ、同じからだの部分として生きるほどの関係に招くものと受け取ります。イエスの上に、イエスにつながれ組み合わされて教会がある。主よ、私たちをあなたの恵みに応える群れにならせてください。【井形英絵】

日本バプテスト連盟

神戸バプテスト教会

牧師 井形 英絵

主日礼拝

毎日曜日 午前 10:30～11:45

共育のひろば

第1・2日曜日 午前 11:45～12:40(成人クラスA・B・C)

第2・3・4日曜日 午前 11:45～12:40 (小学生クラス)

幼稚園C・S

日曜日 午前 9:00～10:20(12月8日)

ひまわりひろば

日曜日 午前 9:00～10:20(12月8日)

祈 禱 会

毎水曜日 午後 19:00～20:15

教会についてのお問い合わせ、バプテスマの希望や他教会からの転入、またご相談のある方は
牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

〒650-0003 神戸市中央区山本通 1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com



祈りの課題

- 1、神戸バプテスト教会 2024 年度福音宣教と諸計画諸活動のために。世界バプテスト祈禱週間を覚えて。
- 2、光の丘幼稚園児・保護者・教職員ために。新園児の募集を覚えて。アドベントチャペル・クリスマス礼拝のために
- 3、井形英絵牧師の働きと健康が守られますように。
- 4、能登半島豪雨・地震、宮崎地震、山形大雨災害、世界各地で被災された方々、支援にあたっておられる方々のために
- 5、イスラエル、パレスチナ、スーダン、ミャンマー、アフガニスタン、ウクライナとロシアなど紛争と戦争の只中にある方々の命が守られますように。すべての人々のいのちが尊重される自由と平和が実現しますように
- 6、台湾地震、モロッコ、リビアの災害、トルコ・シリア大地震で被災された方々の命と日々の生活が守られますように。
- 7、子どもたちの心と体の成長が守られますように。
- 8、病の中にある方、療養中の方、その方々を支えておられるご家族のために。
- 9、困難の中にある方々と共に生きるすべてのキリスト教会と信徒の信仰生活の守りのために。
- 10、新会堂建築計画の導き。会堂建築委員会の働きのために。
- 11、これからの神戸教会のために。教会員が共に語り合い、主の御心を求めることができますように。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の全国 316の教会・伝道所のために。特に連盟の機構改革と新しい体制での働きのために。第70回定期総会（2025年2月）と準備のために。
- ◆関西地方教会連合の36教会のために。2024年度の連合の働きのために。

交読 詩編 42編 2〜12節「祈り」

涸れた谷に鹿が水を求めるように、神よ、わたしの魂はあなたを求める。

神に、命の神に、わたしの魂は渴く。

いつ御前に出て、神の御顔を仰ぐことができるのか。

昼も夜も、わたしの糧は涙ばかり。

人は絶え間なく言う、「お前の神はどこにいる」と。

わたしは魂を注ぎ出し、思い起す、喜び歌い感謝をささげる声の中を、

祭りに集う人の群れと共に進み、神の家に入り、ひれ伏したことを。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう、「御顔こそ、わたしの救い」と。

わたしの神よ。わたしの魂はうなだれて、あなたを思い起す。

ヨルダンの地から、ヘルモンとミザルの山から、

あなたの注ぐ激流のとどろきに「たえて、深淵は深淵に呼ばわり、

砕け散るあなたの波はわたしを超えて行く。

昼、主は命じて慈しみをわたしに送り、

夜、主の歌がわたしと共にある、

わたしの命の神への祈りが。

わたしの岩、わたしの神に言おう。「なぜ、わたしをお忘れになったのか。

なぜ、わたしは敵に虐げられ、嘆きつつ歩くのか。」

わたしを苦しめる者はわたしの骨を砕き、

絶え間なく嘲って言う、「お前の神はどこにいる」と。

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。

わたしはなお、告白しよう、

「御顔こそ、わたしの救い」と。

わたしの神よ。